

平成 25 年度事業報告書

自 平成 25 年 4 月 1 日
至 平成 26 年 3 月 31 日

公益財団法人 致道博物館

平成 26 年 6 月 11 日

概 情

当財団は、平成 24 年 4 月 1 日付けをもって公益財団法人に移行、2 年目の今年度は下記のとおり公益目的事業を実施した。

公益目的事業 1 の重点事業(1)では、重要文化財旧鶴岡警察署庁舎保存修理事業(国庫・山形県費・鶴岡市費補助で実施)を 9 月 1 日より開始、内部解体など第 1 期工事を行った。工事は、仮設工事の素屋根掛け工事、屋根解体工事が実施できず計画の 7 割の実施にとどまった。また、当事業に伴う寄付募集を開始した。重点事業(2)の文化資源調査事業では昨年度に引き続き『大泉叢書』活字刊行本 2 冊目を刊行した。

保存管理事業では例年のように指定文化財建造物の外壁ペンキ塗装や屋根の差し茅などの小修理、庭園の除草清掃、樹木剪定整姿、雪吊り雪囲いなど、状況に応じて適正に保存管理に努めた。

教育普及事業では、講演会や列品解説、講座、教室などに延べ 1,871 名が参加受講された。土曜講座ではいずれも専門的な内容だったが参加者には好評だった。「草莽の奇才 田中萬春」の講座のように隠れた偉人に光を当てて顕彰することも当館の役割で、今後も継続して行いたい。出版事業の『親子で楽しむ庄内論語』は、平成 24 年度鶴岡市内の小中学生のために鶴岡市教育委員会が発行した冊子であるが、本年度からは当館が 2 版 3 版と増刷発行、一般の方々にも非常に好評で特に藩校致道館で数多く頒布された。夏休みのこどもミュージアムめぐりでは楽しみながら古文書に親しむミュージアム・トレジャーを実施、また保存修理工事前に重要文化財旧鶴岡警察署庁舎内部の一般公開を行い、市民など 550 余名の方々が見学に訪れた。

公益目的事業 2 の展示事業では、企画特別展(山形県・(公財)山形県生涯学習文化財団・鶴岡市教育委員会共催)12 件、グループ展 3 件、ロビー展 4 件の展覧会を実施した。併せてこれらの展覧会に関連して講演会・列品解説、ギャラリートーク、公開実演など実施し、好評を博した。企画特別展で一日当たりの入館者が 150 名以上だったのは、4 月から 5 月の「孤高の画人 小松均「最上川」を描く」(177 人/日)、8 月の「本間美術館・致道博物館交流展—出羽庄内の宝ものー」(185 人/日)、10 月の「佐野美術館名品展—近世絵画と書—」(184 人/日)であった。前年度は 200 人/日の展覧会が 3 本あったが、これは全体的入館者減少と軌を一にする状況で、本年度の入館者は過去 5 年間で最低の 42,200 名余りとなった。なお、友の会会員の小中生会員は入会減少等のため本年度から取りやめた。

公益目的事業 3 の国指定史跡旧致道館(旧庄内藩校)の委託事業は、4 月 1 日より鶴岡市より指定管理者の指定を受け保存活用に努めた。施設保存管理事業では外構・建造物の適正な管理を行い、展示事業では御入間で論語の致道館流素読を BGM 風に常時放送、普及教育事業では「致道館文化の学習と庄内論語の素読」と題して教育体験講座を行い、好評を博した。他団体主催の講座や研修会、また学校の課外授業としての当施設利用に協力し、文化継承の役割を担う施設として運営した。

最後に、当財団の役員である植松芳平理事が 11 月 2 日に酒田市民表彰、加藤捷男評議員が 11 月 3 日に旭日双光章、東山昭子理事が 11 月 14 日に社会教育功労者文部科学大臣表彰をそれぞれ受章、祝意を表する次第である。

事業推進に尽力された細井功理事が 3 月 22 日逝去された。謹んでご冥福をお祈り申し上げる。

以下、各事業の詳細を報告する。

1. 公益目的事業 1 (事業の内容～歴史的な郷土資料や文化財等の博物館資料を調査収集、研究、保管、修復し、一般公開のための展示や教育普及活動を行う事業)

1-1 重点事業

(1) 重要文化財旧鶴岡警察署庁舎保存修理事業

9 月 1 日より事業を開始、周辺樹木の移植伐採、設計監理は公益財団法人文化財建造物保存技術協会(東京)、請負業者は指名競争入札により落札した(株)山口工務店(鶴岡)との契約締結、工事安全祈願祭の実施(11 月 16 日)、文化庁建造物豊城調査官の現地指導(11 月 21 日～22 日)、保存小屋建設、内部解体など第 1 期工事を行ったが、震災復興の影響と思われる仮設資材と熟練技能者の確保ができず、併せて冬季の強風の事由により仮設工事の素屋根掛け工事が計画どおりできず、それに伴う屋根解体工事なども次年度に持ち越しとなった。第 1 期工事は当初計画の 7 割ほどの進捗状況にとどまってしまった。また、当事業に伴う寄付募集を開始した。

(2) 文化資源調査事業

当館が所蔵する歴史資料などを調査研究し、その成果を公益性の高い文化資源として社会に還元するために、『大泉叢誌』の筆写・解説・点検・データ入力を実施して活字化し、その一部の『大泉叢誌 卷20・卷42～卷46・卷118・卷125・卷127』300冊を出版刊行した。また、「酒井家文書目録」作成のための『酒井家文書』の確認・解説整理を実施した。

1-2 保存管理事業

(1) 指定文化財の保存管理事業

① 重要文化財建造物の保存管理

重要文化財旧西田川郡役所・重要文化財旧渋谷家住宅の防災設備(自動火災報知設備・消火設備・避雷設備)、電気設備等の保守点検、ペンキ部分塗装・差し茅などの小修理を山形県・鶴岡市の補助を受けて実施した。

② 名勝酒井氏庭園の保存管理

除草・清掃、樹木の剪定・整姿・刈込、防(駆)虫剤散布、雪吊り・雪囲い、樹木用支柱の取替え修理を山形県・鶴岡市の補助を受けて実施した。池の注水する地下水ポンプが目詰まり破損したため鶴岡市の補助を受けて修理工事を実施した。

③ 国・県・市指定文化財の保存管理

絵画・工芸品・書跡・典籍・古文書・考古資料・歴史資料、重要有形民俗文化財など指定文化財の保存管理に万全を期するため、収蔵室の適正な環境保持、定期的な清掃、刀剣類などの手入れ等を実施した。

④ 史跡松ヶ岡開墾場内の旧四番蚕室(庄内農具館)の保存修理事業(管理団体鶴岡市、国庫・山形県費の補助)を実施、雨戸の修理工事や新たな火災報知器の取付工事等を行った。旧一番蚕室(松ヶ岡開墾記念館)は 防災設備の保守点検、屋根瓦の小修理を実施した。

(2) 博物館資料の保存管理事業

① 歴史的建造物等の保存管理

御隱殿・民具の蔵などの歴史的建造物や重要有形民俗文化財収蔵庫などの防災設備、電気設備等の保守点検、下見板などの小修理を実施した。展覧会場建物の長尺トタン屋根の全面塗り替え工事を実施した。

夜間の防犯等は警備保障会社へ委託して行った。消防訓練を2回実施し、また地震などの災害時に対する予防・災害対策を定期的に確認した。

② 博物館資料の保存管理

博物館資料の維持管理として適正な環境保持、定期的な清掃、軸装・額装資料・冊子資料の補修・修理、作品資料の額装、美術工芸品や庄内竿・民具等の手入れなどを実施した。資料台帳の整備(コンピューター入力)を進めた。

③ 松ヶ岡施設の展示収蔵資料の保存管理

羽黒町松ヶ岡の重要有形民俗文化財「米作り用具」収蔵庫や旧一番蚕室の「松ヶ岡開墾記念館」や旧四番蚕室の「庄内農具館」に展示収蔵している博物館資料を日常管理で実施した。

1-3 展示事業

(1) 常設展示事業

指定文化財や歴史的建造物などをを利用してテーマ別に常設展示している考古・歴史・民俗資料の一部を展示替え、説明板・キャプションの改訂を行った。

松ヶ岡施設の旧一番蚕室「松ヶ岡開墾記念館」では松ヶ岡開墾場の歴史を知ることが出来る常設展示や巡回展示用の解説パネル7枚を作成した。これは昨年度に引き続きの事業で、文化庁「文化遺産を活用した観光振興・地域活性化事業」の補助事業の羽黒地域文化遺産歴史発信事業委託業務(受託者/羽黒町観光協会)によって製作した。

1-4 教育普及事業

(1) 講演会・講座事業

① 公開講演会

平成26年3月8日(土) 於:タワーホール船堀(東京都江戸川区)東京友の会の集いを開催

講師 佐藤賢一氏(平成11年度直木賞作家)「新徴組－江戸から庄内へ－」

参加者 115名

(2) 土曜講座

8月 10日(土) 柴田和彦氏(鶴岡工業高校教諭)「庄内地方の歴史的建造物」

参加者 27名

9月 7日(土) 前田光彦氏(鶴岡市史編纂委員長)「草莽の奇才 田中萬春」

参加者 30名

10月 5日(土) 渋谷孝雄氏(山形県立考古資料館長)「庄内地方の旧石器」

参加者 24名

(3) 中国古典講座

4月～12月の毎月 7日・17日夜 中国古典「論語」「春秋左氏伝」の講義と「詩経」の素読

講師 犬塚幹士当館理事(講義) 細井功当館理事(素読)

受講生 23名(一般) 延出席人数 218名

(2) 出版事業

①館報「致道」51号 平成26年2月6日発行

②『大泉叢誌 卷20・卷42～卷46・卷118・卷125・卷127』(活字本) 平成26年3月31日発行

③『親子で楽しむ庄内論語』第2版(平成25年5月25日)・第3版(平成25年11月20日)発行

(3) 伝統文化普及事業

①各流合同茶会 4月21日(日) 於:致道博物館内に4席 表千家・裏千家・遠州流・大日本茶道学会の合同茶会 参加者 325名

②少年少女古典素読教室(鶴岡市中央公民館・致道館文化振興会議と共催) 5月下旬～7月下旬毎週土曜日・7月下旬～8月上旬毎日早朝 5:40～ 16回開催 『論語抄』の素読 6/30 史跡文化財巡り(田川湯田川の文化財見学と熊野長峰登山)

講師 水野貞吉氏(致道館文化振興会議)・氏家登志雄氏(同左)・三矢正士氏(同左)・犬塚幹士(致道博物館)・酒井英一(同左)・本間豊(同左)

受講生 28名(小学3年生～中学2年生) 延出席人数 382名

③やまがたアートライン事業の参加(主催 実行委員会/事務局 山形県県民文化課内)

夏休みこどもミュージアムめぐり 7月20日～8月31日

・スタンプラリー 参加した子どもの人数 111名

・ミュージアム・トレジャー(昔の文字を解読して博物館内に隠された財宝を探し出す企画) 8/4・8/11 参加した子どもや親子の人数 24名

・「さようなら旧警察署、また逢う日まで」(修理工事に入る前の建物内部の公開) 8/17～19・8/24～26 参加者 555名

ミュージアムフェアやまがた 2013 10月26日～11月24日

・土日曜日祝日タイムサービス 御隱殿で抹茶一服(菓子付)代金が半額 60名

④姉様人形教室(姉様人形保存会主催)・刀剣鑑賞会(日本美術刀剣保存協会庄内支部主催)・庄内民俗学会例会に協力 於:致道博物館講座室

(4) 教育啓蒙事業

①ボランティア解説員(展示品の解説)の活動 5月～11月・3月 (234日間)

解説員 17名 延活動人数 192名

②博物館学芸員の育成(実習生の受け入れ) 8月26日～8月31日

実習生／東北芸術工科大学学生3名・官城学院女子大学学生1名 計4名

実習内容／美術工芸品(掛軸・陶磁器・刀剣など)の取り扱い、企画展展示・撤収作業、資料の整理と保存、拓本技法、写真撮影技法、資料修復と資料化、遺跡・文化施設見学

③博物館の実習体験(インターフィップの受け入れ) 8月26日～8月30日・10月1日～10月3日

実習生／山形大学学生1名・羽黒高校生徒1名

実習内容／上記学芸員実習内容・展覧会監視、博物館資料の移動整理

④先賢を偲ぶ会 平成26年2月16日(日) 於:御隱殿

内容／拝礼、講話～地主正範氏(東北振興研修所名誉顧問)「南洲翁遺訓と臥牛先生遺教」

参加者 30 名

⑤東京友の会の集い 平成 26 年 3 月 8 日（土）於：タワーホール船堀（東京都江戸川区）（前出）

⑥博物館資料や郷土史関係等の相談助言 通年 相談件数 14 件

相談内容／書の解説、三方領地替え・城下絵図・庄内帯・船玉様・酒井忠徳俳諧資料・士族言

葉・古式鏡などに関すること

⑦庄内民俗学会・庄内考古学研究会など学術学会の活動に協力

⑧広報活動 文化財・博物館資料の啓蒙 通年

各種事業については新聞・テレビ・ミニコミ誌などの報道機関や鶴岡市広報などに資料提供や取材協力依頼につとめ、また、新聞広告や看板、ポスター掲示、ダイレクトメール、インターネット（ホームページ）などを活用して周知をはかった。

1-5 調査研究事業

(1) 文化資源調査事業（前出）

(2) 山形県養蚕用具の調査研究整理

一般社団法人山形県蚕糸業会より山形県の養蚕用具の整理を受託、100 点のデジタル台帳作成を行った。

(3) 庄内地方の歴史資料・考古資料・美術資料の調査研究整理

2. 公益目的事業 2 （事業内容～優れた美術作品の鑑賞や貴重な博物館資料を紹介する一般公開のための企画展示及び併せて関連する教育普及活動を行う事業）

2-1 展示事業

(1) 企画特別展示事業（主催事業）

於：美術展覧会場 ☆印：山形県・（公財）山形県生涯学習文化財団・鶴岡市教育委員会共催
◇印：（公財）日本美術刀剣保存協会共催

① ☆庄内藩主九代酒井忠徳と藩校致道館 4 月 1 日～4 月 19 日（19 日間）

入場者数：一般 1,287 名／児童生徒学生 71 名／計 1,358 名

江戸時代中期後半の安永年間頃、庄内藩は財政の悪化、農民の疲弊、士風頽廃の状況で、これを打開するため庄内藩主酒井忠徳は、郡代であった白井矢太夫を重用し、藩政改革を実施、特に人材育成の目的で文化 2 年（1805）藩校致道館を設立した。その藩校に係わった人たちの遺墨や他国の藩校視察をした折りの古絵図、被仰出書などの藩校資料を通じて、当地の文化的土壤となっているその特色を知る一助とした。

② ☆孤高の画人 小 松 均「最 上 川」を 描 く 4 月 23 日～5 月 22 日（30 日間）

入場者数：一般 4,884 名／児童生徒学生 430 名／計 5,314 名

山形県大石田生まれの小松均（1902-1989）は川端画学校で学び、のち京都に移り国画会土田麦遷に師事、戦後、院展同人になり、京都大原で自給自足の生活をしながら創作活動に没頭、水墨による独自の画風を打ち立て文部大臣賞など数々受賞、昭和 61 年文化功労者となった。本展では最上川シリーズの大作 6 点を中心に展示鑑賞、大好評を博した。

③ ☆画家 93 歳三井永一の軌跡「油絵・リトグラフ・挿絵」 5 月 24 日～6 月 26 日（34 日間）

入場者数：一般 4,396 名／児童生徒学生 374 名／計 4,770 名

大正 9 年（1920）鶴岡市出身の三井永一は川端画学校、春陽会洋画研究所で学び、木村荘八、岡鹿之助に師事、昭和 28 年（1953）春陽会会員、昭和 30 年（1955）国際アート会員となり、多岐にわたる独特な作品を数多く発表、昭和 46 年（1971）には講談社出版文化賞を受賞、シュールリアリズムの油絵、リトグラフ、ガラス絵、挿絵の作品を展示鑑賞し、長きにわたる画家活動を讃える展覧会とした。期間中の 6 月 1 日に神奈川県海老名市で逝去、展示場に急遽、訃報のお知らせを掲げ、追悼の展覧会となってしまった。

④ ☆◇日本名刀展シリーズ平成 25 年新作名刀展—現代の刀工と刀職— 6 月 29 日～7 月 18 日（20 日間）

入場者数：一般 2,883 名／児童生徒学生 90 名／計 2,973 名

日本名刀展シリーズ第 36 回展。毎年 6 月に東京・刀剣博物館で開催する同展の巡回展で、刀剣関係の最も権威ある全国展覧会。現代の刀工・刀職による刀剣と刀装具の入賞入選作 30 振、鐔・拵・柄前・

白銀 20 点余を展示、全国の現代刀工・刀職たちが時代的特色や流派の特徴などを取り入れながら作刀制作した作品の工芸美を鑑賞するとともに長い歴史に培われた日本人の美意識と今に息づく伝統の技を紹介した。期間中、銘切の実演を実施した。

⑤ ☆本間美術館・致道博物館交流展ー出羽庄内の宝ものー 8月1日～8月29日（29日間）

両館とも戦後まもなく開館、平成9年(1997)協力して地方文化向上のため尽力しようという主旨のもと姉妹館を締結、その連携事業の一環として共同企画同時開催、両館の所蔵品を交換しての展覧会で、当館では重文藤原定家筆消息、沢庵宗彭筆三猿狂歌、重美大井戸茶碗、県文高麗青磁象嵌平茶碗、酢漿草紋散の調度品など豪商大地主本間家伝来品や大名酒井家里帰りの優品38点を展示紹介した。期間中、本間美術館館長より講演していただいた。

⑥ ☆金峯山の歴史と文化 9月1日～9月29日（29日間）

入場者数:一般 4,100名／児童生徒学生 123名／計 4,223名

国指定名勝金峯山(458m)は、むかし修験道の靈場として栄え、信仰の山として又山頂から庄内平野を一望できる絶景眺望の山として庄内の人々から親しまれている。山内には幾多の寺社があり、そこに伝えられている重文銅鉢、県文銅造如意輪観音坐像、県文獅子頭、市文鰐口、市文最上義光寄進状など歴史的資料を通して金峯山の歴史と文化を理解していただく一助とした。期間中、当館の学芸員のギャラリートークを行った。

⑦ ☆佐野美術館名品展ー近世絵画と書ー 10月1日～10月30日（30日間）

入場者数:一般 5,325名／児童生徒学生 191名／計 5,516名

静岡県三島市にある公益財団法人佐野美術館には国宝・重要文化財指定の日本刀や陶磁器・金銅仏・古写経・日本画など東洋古美術品を数多く所蔵しており、当館とは古くからの交流館である。佐野美術館のご好意によって所蔵品の中から海北友松「網干図」、曾我蕭白「富士図」、葛飾北斎「着衣鬼図」などの絵画、慈雲「管公所詠」、白隱「禪語僧問趙州」などの書、20点を展示し、めったにみることができない優品を鑑賞、好評を博した。期間中、佐野美術館学芸員のギャラリートークを行った。

⑧ ☆「昔の暮らしと農作業」展 11月9日～11月29日（21日間）

入場者数:一般 2,107名／児童生徒学生 378名／計 2,485名

山形県は四季がはっきりしている地域で、その暮らしや農作業は時代の移り変わりとともに大きく変化してきた。着る物や履物、食べ物、暖房具など衣食住に関わる生活用具、乾田馬耕や人力による田植え・稻刈りなどの農作業の道具、これら民俗資料や当時を記録した写真、ミニチュア人形などを使って昔の暮らしと農作業を振り返り、今後の当地方の環境や文化を考える一助とした。期間中、当館の学芸員のギャラリートークを行った。

⑨ ☆花鳥画展 12月13日～H25.1月14日（22日間）

入場者数:一般 650名／児童生徒学生 148名／計 798名

花鳥画は花・鳥・虫などを描いた日本画で、日本の四季を投影している。鋭い観察力と細かな筆致の作品は江戸時代から賞讃されてきた。本展は、庄内に所縁のある斎藤墨湖、市原円潭、服部五老、富樫景堂、山口将吉郎、真嶋北光、金子八畝など近世から現代までの画家が描いた花鳥画(屏風や軸装)を展示鑑賞した。

⑩ ☆酒井玄蕃・酒井調良・黒崎研堂「三兄弟の遺墨」 1月17日～2月17日（28日間）

入場者数:一般 1,107名／児童生徒学生 210名／計 1,317名

三兄弟は幕末の庄内藩家老酒井了明の子、長男玄蕃(天保13～明治9)は聰明で戊辰戦争では二番大隊長として連戦連勝の活躍、次男調良(弘化5～大正15)は庄内柿の栽培普及に尽力、三男研堂(嘉永6～昭和3)は庄内における書道興隆の基礎をつくり多くの門弟を育成、三兄弟とも俊英で能筆、楷書を中心とした遺墨を展示鑑賞した。また、新聞誌上に5回連載で主な展示作品を紹介した。

⑪ ☆庄内藩酒井家美術資料展 2月20日～3月30日（38日間）

入場者数:一般 2,479名／児童生徒学生 124名／計 2,603名

徳川四天王の一人・酒井忠次を祖とする酒井家は、江戸時代初期の元和8年(1622)藩主として庄内に入部、以来250年間近く庄内地方を領国經營してきた。大名酒井家に伝来してきた様々な美術品や工芸品、歴史資料などを展示紹介、公開する機会が少ない文化財や資料の鑑賞に供するとともに、その時代の歴史文化を考える一助とした。

⑫ ☆鶴岡雛物語(於:御隠殿) 3月1日～4月3日（34日間）

入場者数:一般 2,656名／児童生徒学生 152名／計 2,808名

城下町鶴岡に伝わる古典雛を広く紹介し、昔ながらの日本伝統行事や文化を再認識するため、旧庄内藩主酒井家や市内旧家で所蔵している江戸時代中期から明治時代にかけての雛人形、また大名家にお輿入れに持参した雛道具を展観、併せて鶴岡市内 10 店舗の菓子店の協力によって当地方独特の雛菓子も一堂に展示、菓子職人の技を楽しみながら、子供の健やかな成長を願って開催した。期間中、蝋燭の絵付けや雛菓子づくりなどのイベントも実施した。

(2) 個展・グループ展示事業

於:美術展覧会場

- ① 第97回 白土会展 (共催)

7月20日～7月30日 (11日間)

入場者数:一般 886名／児童生徒学生 87名／計 973名

白土会は、昭和35年創立された新庄市・最上地方を中心に北村山地方も含めた美術団体。油絵、版画、彫塑 20 点を展示鑑賞した。

- ② 第8回 美を謳う 岡展

11月1日～11月7日 (7日間)

入場者数:一般 1,486名／児童生徒学生 219名／計 1,705名

洋画家故今井繁三郎を慕う鶴岡・山形・東京在住の人たちで結成されたグループ。8名による油絵・書・工芸の作品 40 点と特別展示の故今井繁三郎作品 2 点を展示鑑賞した。

- ③ 第34回 鶴岡書道会会員展 (共催)

12月1日～12月10日 (10日間)

入場者数:一般 582名／児童生徒学生 13名／計 595名

昭和9年に設立された鶴岡市を中心とする書道団体。会員の作品 26 点とともに鶴岡市と友好都市の江戸川区の書道連盟幹部の贊助作品 5 点を展示鑑賞した。

(3) ロビー展示事業 ※主催は各団体

於:講座室・ロビー

- ① 第11回 庄内姉様人形教室受講生作品展

10月26日～10月28日 (3日間)

太田正子氏を講師とする庄内姉様人形保存会が主催する同教室の受講生が制作した作品を展示、江戸時代から伝えられてきた庄内姉様人形(紙人形)をピーアールするとともに受講生の作品発表の場とした。

- ② 第6回「砂の会」作品展

11月1日～11月4日 (4日間)

加藤景一氏主宰する「砂の会」会員が制作した作品を展示、砂を素材に絵画的作品や立体作品など個性豊かな作品発表の場とした。

- ③ 第7回 寒蘭展 (鶴岡東洋蘭同好会と共催)

11月18日～11月24日 (7日間)

鶴岡東洋蘭同好会の一部会員が育てている日本蘭与中国蘭の寒蘭約 20鉢を展示、東洋蘭の清楚な美と匂いを鑑賞した。

- ④ 第9回 東洋蘭展 (鶴岡東洋蘭同好会・里仁館芳蘭会と共に H26.3月18日～3月23日 (6日間)

日本春蘭与中国春蘭あわせて約 120 鉢、蘭に因む掛軸額装作品 7 点を展示鑑賞、終日、出品者の鶴岡東洋蘭同好会と里仁館芳蘭会の両会員が説明や質問に応じるなど好評を博した。

2-2 教育普及事業

(1) 講演会・講座事業

① 特別講座

- 8月3日(土) 於:展覧会場 「酒田大地主本間家の歴史と文化財」

講師 田中章夫氏(本間美術館館長)

参加者 45名

② 企画特別展列品解説、ギャラリートーク、公開実演

- 6月29日(土)・7月6日(土)・7日(日)・14日(日) 於:展覧会場 「平成25年新作名刀展」

講師 上林恒平氏(刀匠)の銘切

- 9月15日(日)・22日(日) 於:展覧会場 「金峯山の歴史と文化」

講師 菅原義勝学芸員

参加者 45名

- 11月1日(火) 於:展覧会場 「佐野美術館名品展—近世絵画と書—」

講師 河内えり子(佐野美術館主任学芸員)

参加者 50名

- 11月10日(日)・24日(日) 於:展覧会場 「昔の暮らしと農作業」展

講師 本間豊学芸部長

参加者 45名

(2) 出版事業

- ① 企画特別展図録目録の発行

(3) 広報事業

- ① 広報活動 企画展の広報活動

各種事業については新聞・テレビ・ミニコミ誌などの報道機関や鶴岡市広報などに資料提供や取材協力依頼につとめ、また、新聞広告や看板、ポスター掲示、ダイレクトメール、インターネット(ホームページ)などを活用して周知をはかった。

3. 公益目的事業3 (事業内容～国指定史跡旧致道館(旧庄内藩校)の管理運営の委託を受けて、一般公開の展示や関連する教育普及活動を行う事業)

3-1 史跡旧致道館(旧庄内藩校)の保存管理活用事業

鶴岡市教育委員会との委託契約によって管理運営し、国指定文化財の保存活用をはかった。

平成26年1月、自動体外式除細動器(AED)が設置された。

(1) 施設保存管理事業

① 外構管理

除草・清掃、樹木の剪定・整姿・刈込、防(駆)虫剤散布、雪吊り・雪囲い、樹木用支柱の取替え修理、泮池の木橋の塗装、縁石の石積み補修、泮池の清掃浄化を行った。

② 建造物管理

講堂・御入間・聖廟・廟門・表御門・西御門・東御門の日常掃除、防災設備(自動火災報知器・消火器)の保守点検、水屋腰板の小修理を実施した。

本年度から夜間の防犯等は警備保障会社へ委託して行った。消防訓練は1回実施し、また地震などの災害時に対する予防・災害対策を定期的に確認した。

(2) 展示事業

① 藩校致道館の沿革・教育・制度・釈奠・施設などに関する資料を展示、一部キャプションの改訂を行った。聖廟に展示の聖賢画像(孔子像、複製)を修復した。

② 御入間で資料理解の一助として「論語」の致道館流素読をBGMとして流した。

(3) 普及教育事業

① 藩校致道館教育体験教室・講座

7月27日(土)～29日(月) 於: 旧致道館 「致道館文化の学習と庄内論語の素読」

講師 富樫恒文文化財保護指導員・細井功氏(致道館文化振興会議会長)

受講生20名 延出席人数46名

② 「孔子祭・致道館の日」式典(主催・致道館文化振興会議)

9月28日(土) 於: 旧致道館 内容/ 祭典・祝文奉読・論語素読・講経・講演

参加者91名

③ 研修会・講座(主催・各種団体)への協力

4月16日 於: 旧致道館 新採教員初任者研修会「鶴岡の教育精神と庄内論語の素読」(主催・鶴岡市教育委員会)

7月16日 於: 旧致道館 里仁館生涯学習講座(主催・生涯学習施設里仁館)

8月5日 於: 旧致道館 教員夏季研修講座「致道館の精神と庄内論語」(主催・鶴岡市教育委員会)

8月31日 於: 旧致道館 慶應義塾大学「庄内セミナー」(主催・慶應義塾大学)

10月3日 於: 旧致道館 鶴岡信用金庫職員研修会(主催・鶴岡信用金庫)

その他9団体が使用、講師 富樫恒文文化財保護指導員 以上受講者数455名

④ 学校授業への協力

学校の課外授業(「致道館学習」と「論語素読」を勉強)として使用

講師 富樫恒文文化財保護指導員 鶴岡市内20校 28学年の児童 906名

⑤ 来館者への藩校致道館に関する解説説明、相談助言

⑥ 伝統文化の継承普及イベントに共催

9月15日 於: 旧致道館 表千家同心会茶会

⑦旧致道館関係書籍の頒布、特に『親子で楽しむ庄内論語』の頒布数が多った。

⑧広報活動

新聞・テレビ・ミニコミ誌などの報道機関や鶴岡市広報などに資料提供や取材協力依頼につとめ、主催事業については鶴岡市内の各学校を通じてチラシを配布して周知をはかった。

4. 収益事業1 (事業内容～入館者への利便提供のための軽食喫茶の運営及び博物館関連の書籍やグッズ等の販売)

4-1 収益事業

(1) 博物館関連商品販売等事業

売店を大幅に縮小した。

(2) 軽食喫茶店等の賃貸事業

松岡物産㈱に軽食喫茶店舗(店名・莊内藩)を賃貸した。

庶務の概要

平成26年3月31日現在

1. 役員に関する事項

順不同・敬称略

役員名	氏名	備考	役員名	氏名	備考
(理事11名)			評議員	佐藤 平	田川地区高等学校長会代表(鶴岡工業高校)
代表理事	酒井 忠久	(公財)日本美術刀剣保存協会理事	//	白幡 進	白幡社委員長
理事	犬塚 幹士	鶴岡市文化財保護審議会委員	//	高梨 博実	山形県立博物館長
//	植松 芳平	鶴岡市文化財保護審議会委員、ほとりあ館長	//	高橋 直人	(株)きらやか銀行鶴岡支店長
//	加藤 保	鶴岡市教育委員会社会教育課長	//	長坂 紳一	(株)莊内銀行常勤監査役
//	加藤 徹三	前(財)北斗会評議員	//	難波 信昭	鶴岡市教育委員会教育長
//	酒井 英一	鶴岡市文化財保護審議会委員	//	本間 謙三	(公財)本間美術館副理事長
//	酒井 忠順	松岡物産(株)社長	//	三浦 慎	鶴岡市観光連盟会長
//	田中 章夫	(公財)本間美術館館長	//	三矢 正士	県道館文化振興会議事務局長
//	田中 茂雄	(公財)東北振興研究所理事長	//	山田 鉄哉	松ヶ岡開墾場理事長
//	東山 昭子	鶴岡市芸術文化協会会长	(監事2名)		
//	本間 豊	(公財)致道博物館学芸部長	監事	氏家 昇一	松岡(株)代表取締役社長
(評議員15名)			//	本間 厚	税理士
評議員	石原 純一	鶴岡観光協会会长	(顧問2名)		
//	加藤 捷男	鶴岡信用金庫理事長	顧問	榎本 政規	鶴岡市長
//	加藤 千明	(公財)山形美術館館長	//	田中 尹	前鶴岡織物工業協同組合理事長
//	上林 恒平	刀匠	//	山崎 誠助	前鶴岡市芸術文化協会会調
//	酒井 天美	松岡物産(株)会長			

2. 役員会に関する事項

■ 理事会

開会月日	議事内容	会議の結果
平成25年 6月12日	<ul style="list-style-type: none"> 平成24年度事業報告の件 平成24年度収支決算の件 平成24年度国指定文化財管理費補助事業収支決算及び平成25年度同事業収支予算の件 重要文化財旧鶴岡警察署庁舎保存修理事業の件 重要文化財旧鶴岡警察署庁舎保存修理に伴う事務所等の移転及びその費用として特定資産からの支出の件 平成25年度定時評議員会召集の件 その他 	可決 承認 可決 承認 可決 承認 可決 承認 可決 承認 可決 承認 可決 承認
平成25年 10月 4日	<ul style="list-style-type: none"> 重要文化財旧鶴岡警察署庁舎保存修理工事入札参加請負業者選定の件 重要文化財旧鶴岡警察署庁舎保存修理事業及び周辺整備に関する寄附募集の件 	可決 承認 可決 承認
平成26年 2月10日	<ul style="list-style-type: none"> 平成25年度補正予算の件 平成26年度事業計画の件 平成26年度収支予算の件 平成26年度重要文化財旧鶴岡警察署庁舎保存修理事業の件 重要文化財旧鶴岡警察署庁舎保存活用計画策定の件 「就業規則」の変更及び追加の件 その他 	可決 承認 可決 承認 可決 承認 可決 承認 可決 承認 可決 承認 可決 承認

■ 評議員会

開会月日	議事内容	会議の結果															
平成25年 6月27日	<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度事業報告の件 ・平成24年度収支決算の件 ・平成24年度国指定文化財管理費補助事業収支決算及び平成25年度同事業収支予算の件 ・理事改選の件 ・評議員の補充選任の件 ・その他 	<table border="0"> <tr> <td>可</td><td>決</td><td>承認</td></tr> <tr> <td>可</td><td>決</td><td>承認</td></tr> <tr> <td>可</td><td>決</td><td>承認</td></tr> </table> <table border="0"> <tr> <td>選</td><td>選</td><td>任</td></tr> <tr> <td>選</td><td>選</td><td>任</td></tr> </table>	可	決	承認	可	決	承認	可	決	承認	選	選	任	選	選	任
可	決	承認															
可	決	承認															
可	決	承認															
選	選	任															
選	選	任															

■ 執行役会議

毎月1回開催（4月10日、5月14日、6月10日、7月9日、8月9日、9月9日、10月9日、11月13日、12月10日、平成25年1月9日、2月10日、3月11日）

■ 監査

6月11日（平成24年度会計監査）

3. 申請及び許可・認可・承認並びに届出等に関する事項

提出月日	宛所	内容	備考
4月 1日	山形県知事	平成25年度山形県博物館事業(展覧会事業)共催申請書	4月1日付で承認
〃	〃	〃 共催負担金交付申請書	4月1日付で交付決定
〃	鶴岡市教育委員会	平成25年度教育関係事業(致道博物館展示事業)共催承認申請書	4月1日付で承認
〃	鶴岡市長	〃 共催負担金交付申請書	4月1日付で交付決定
〃	(公財)山形県生涯学習文化財団理事長	平成25年度文化団体等連携支援(展覧会事業)共催申請書	4月1日付で承認
〃	〃	〃 助成金交付申請書	4月1日付で交付決定
〃	山形県知事	平成24年度国指定文化財(旧西田川郡役所)管理費補助事業実績報告書	5月13日付で交付額確定
〃	〃	〃 (旧渋谷家住宅) 〃	〃
〃	〃	〃 (酒井氏庭園) 〃	〃
〃	鶴岡市長	〃 (旧西田川郡役所・旧渋谷家住宅・酒井氏庭園・旧鶴岡警察署) 〃	月 日付で交付額確定
4月 15日	鶴岡市消防長	防火体制に関する意見書	4月18日付で交付額確定
3月 30日	鶴岡市長	平成24年度鶴岡市文化資源調査保存事業実績報告書	3月30日付で交付額確定
4月 18日	〃	平成25年度鶴岡市文化資源調査保存事業交付申請書	5月7日付で交付決定
4月 19日	文化庁長官	史跡名勝天然記念物所有者変更届(松ヶ岡開墾場一番蚕室・四番蚕室)	
4月 30日	山形県知事	平成24年度山形県博物館事業(展覧会事業)共催実績報告書	5月30日付で交付額確定
〃	鶴岡市長	平成24年度教育関係事業(致道博物館展示事業)共催実績報告書	
〃	(公財)山形県生涯学習文化財団理事長	平成24年度文化団体等連携支援事業実績報告書	5月29日付で交付額確定
5月 15日	山形県知事	平成25年度国指定文化財(旧西田川郡役所)管理費補助金交付申請書	5月15日付交付確定
〃	〃	〃 (旧渋谷家住宅) 〃	〃
〃	〃	〃 (酒井氏庭園) 〃	〃

5月15日	鶴岡市教育委員会	平成25年度国指定文化財(酒田川郡役所・酒井家住宅・酒井氏庭園)管理費補助金交付申請書	5月15日付交付決定
6月20日	山形県教育委員会	国宝・重要文化財の公開許可について(申請)※「出羽庄内の宝もの」展	7月4日附にて承認
6月20日	〃	所在の場所変更届出書※「出羽庄内の宝もの」展	
7月5日	鶴岡市長	平成25年度鶴岡市文化資源調査保存事業中間報告書	
7月11日	文化庁長官	平成25年度国宝重要文化財等保存整備補助金交付申請書 (重要文化財旧鶴岡警察署庁舎保存修理事業)	9月2日付で交付決定通知
7月17日	鶴岡市消防長	消防用施設等(自動火災報知設備)点検報告書	
7月31日	山形県教育委員会	国宝・重要文化財の公開許可について(申請)※「金泰山の歴史と文化」展	8月21日付にて承認
7月17日	〃	所在の場所変更届出書※「金泰山の歴史と文化」展	
7月22日	文化庁 文化財保護部長	主任技術者の届出について(重要文化財旧鶴岡警察署庁舎保存修理事業)	
9月2日	山形県知事	平成25年度山形県文化財保護事業費補助金交付申請書 (旧鶴岡警察署庁舎保存修理事業)	9月2日付で交付決定通知
9月2日	鶴岡市教育委員会	平成25年度鶴岡市文化財保護事業補助金交付申請書(同上)	9月2日付で交付額確定通知
10月11日	〃	平成25年度鶴岡市文化資源調査保存事業中間報告書	
10月21日	鶴岡市消防長	消防用施設等(自動火災報知設備)点検報告書:松ヶ岡収蔵庫・松ヶ岡開墾場	
10月25日	文化庁 文化財保護部長	係官派遣申請書(旧鶴岡警察署庁舎保存修理事業)	
11月29日	鶴岡市消防長	消防訓練通報書(今年度第1回防火訓練実施計画:12月10日実施)	
12月26日	〃	喫煙等承認申請書(重要文化財旧酒谷家住宅内の暖炉裏で火焚き煙出し作業をするための承認申請書)	12月27日付で承認
12月27日	文化庁長官	計画変更承認申請書(旧鶴岡警察署庁舎保存修理事業)	1月29日付で承認
〃	山形県知事	〃(〃)	〃
〃	鶴岡市長	〃(〃)	〃
1月5日	鶴岡市長	平成25年度補助事業等変更申請書(平成25年度鶴岡市文化資源調査保存事業)	
1月6日	鶴岡市長	平成25年度鶴岡市文化資源調査保存事業中間報告書	
1月14日	鶴岡市消防長	消防訓練通報書(1月26日の第4回文化財防火マー・防水訓練実施)	
〃	文化庁長官	史跡名勝天然記念物き損届(史跡松ヶ岡開墾場)	
1月27日	鶴岡市消防長	消防用設備等(動力消防ポンプ設備)点検結果報告書	1月18日付で受理
2月6日	文化庁長官	平成26年度国宝重要文化財等保存整備補助金交付申請書 (重要文化財旧鶴岡警察署庁舎保存修理事業)	4月1日付で交付決定通知
2月24日	鶴岡市長	平成25年度鶴岡市文化財保護事業補助金(名勝酒井氏庭園深井戸ポンプ修理工事)	2月25日付交付決定
3月6日	山形県教育委員会	平成26年度事業計画及び收支予算書及び理事会議事録の提出	
3月11日	山形県知事	平成25年度山形県文化財保護事業費補助金事業変更承認申請書 (重要文化財旧鶴岡警察署庁舎保存修理事業)	3月14日付交付確定
〃	鶴岡市長	平成25年度計画変更承認申請書(同上)	
3月31日	文化庁長官	平成25年度国宝重要文化財等保存整備費補助金実績報告書(同上)	4月1日付交付確定
3月31日	山形県知事	平成25年度山形県文化財保護事業費補助金実績報告書(同上)	5月19日付交付確定

〃	鶴岡市長	平成25年度鶴岡市文化財保護補助事業実績報告書（同上）	4月23日付交付確定
〃	(跡)山形県生涯 習文化財団理事長	平成25年度文化団体等連携支援(展覧会事業)実績報告書	

4. 資料貸出に関する事項

貸出期間	貸出先	使用目的と貸出資料
4月1日～26年3月31日	山形金峰少年自然の家	常設展示に岡山遺跡・杉ヶ沢遺跡出土の土器・石器 18点
4月1日～26年3月31日	鶴岡市教育委員会	旧藩校致道館常設展示に被仰出書、版木など関係資料 31点
4月1日～26年3月31日	山形県立博物館	常設展示に遊佐町吹浦遺跡出土の縄文土器深鉢 1点
4月1日～26年3月31日	山形県郷土館「文翔館」	常設展[最上川は語る]にハネバンドリ 1点
5月14日～6月25日	本間美術館	[わび・さびの世界 市中山居の茶展]に狩野探幽筆軸装(保贈) 1点
6月10日～10月日	山形県立博物館	特別展[雪害調査所展]にみの・ばんどり・かさ他 計35点
7月24日～9月日	本間美術館	交流展[出羽庄内の宝もの]に駁朱塗黒糸威二枚胴具足ほか計36点
10月4日～11月日	一般社団法人明治神宮	明治天皇百年祭記念第2回[明治天皇六大巡行]展に西田川郡役所古写真 1点
10月22日～11月27日	株月山あさひ博物村	企画展[化石は語るー庄内の大地1700万年前の生き物たちー]はにナウマンゾウの臼歯化石、コイ科の化石ほか 計 6 点
9月24日～11月29日	上山市立上山城	特別展[幕末維新と明治ー近代のかみのやまへの転換ー]に戊辰戦争絵巻ほか計 6 点
10月11日～12月24日	福井県立美術館	特別展[空前絶後の岡倉天心]に重慶田春草筆王昭君図(齋) 1点
10月24日～	鶴岡市立藤沢周平記念館	企画展[藤沢作品と庄内の食]に箱膳 計 2点
10月27日～26年3月1日	酒田市立資料館	第18回企画展[庄内の染め織り~歴史と技~]に生糸ラベル 2点
10月30日～26年2月19日	山形県立博物館	企画展[私たちのたからものー山形城主景上氏から水野氏までの城下絵図ー]へ羽陽山形城郭準繩并家中分野 1点
12月24日～	東京国立近代美術館	特別展「菱田春草展」(26年9月開催)に重慶田春草筆王昭君図(齋) 1点
26年1月24日～3月14日	鶴岡アートフォーラム	企画展[シリーズ第9回 庄内の美術家たち~藤原円潭と文人画の系譜]に市原円潭「秋山訪隱図」ほか 計 8 点
26年3月20日～27年3月31日	鶴岡市教育委員会 (大宝館:郷土人物資料展示施設)	郷土人物資料展示として[斎藤清人]の資料として、刀剣押形、『豊前守藤原清人』、『特別展 山形の刀剣』計 3点
3月17日～	一般財団法人 春陽会	第9回展「春陽展」に三井永一《水上の塔》ほか計 3 点

4. その他

月 日	主 な 事 項
4月 1日	本年度より藩校致道館の指定管理者となる。
4月 26日	御隱殿の一部改修工事がはじめる(5月末まで工事完成、6月10日に事務室の引越)。
5月 27日	山形県文化県境部生活文化課より会計検査(平成24年度山形県博物館事業(展覧会事業)共催負担金)
7月 1日	展覧会場屋根のペンキ塗工事はじまる(7月29日まで)。
7月 1日	平成25年度史跡松ヶ岡開墾場四番蚕室保存修理事業はじまる(10月31日まで)
7月 16日	旧鶴岡警察署庁舎保存修理工事前の資料等の移動が本格的にはじまる(8月中旬まで)

8月18日	保存修理事業開始前に重文旧鶴岡警察署庁舎内的一般公開（18・19日及び24～26日）。
8月23日	本間美術館と姉妹館交流会（於：展示場ロビー） 25名参加
9月 1日	重要文化財旧鶴岡警察署庁舎保存修理事業始まる。
9月 9日	文化庁調査官（建造物修理企画部門）来館、旧鶴岡警察署庁舎及び旧渋谷家住宅を視察。
10月21日	重文旧鶴岡警察署庁舎保存修理工事（第1期）の入札会を実施
11月15日	重文旧鶴岡警察署庁舎保存修理工事安全祈願祭
11月19日	山形県教育委員会による公益法人の運営組織及び事業活動の状況に関する立入検査
11月20日	文化庁調査官（史跡部門）来館、名勝庭園ほか館内視察。
11月21日	文化庁調査官（建造物修理指導部門）来館、重文旧鶴岡警察署庁舎保存修理工事の指導（翌22日まで）
11月27日	松ヶ岡庄内農具館消防查察
12月10日	第1回防火訓練（避難・通報訓練） 11名参加
1月 1日	松ヶ岡開墾場内庄内農具館に落雷被害（自動火災報知設備に被害）
1月27日	第2回防火訓練（総合訓練・消火器の取扱い訓練） 15名参加
1月28日	館内施設の消防查察
2月16日	先賢を偲ぶの会 30名参加
2月17日	友の会世話人会 30名出席
2月18日	旧鶴岡警察署庁舎保存修理工事に伴う臨時休館（2月26日まで）
3月 1日	名勝酒井氏庭園深井戸ポンプ修理工事始まる（3月28日まで）
3月 8日	東京友の会のつどい（東京・江戸川区タワーホール船堀） 124名参加。
3月22日	細井功理事逝去（享年90歳）
3月31日	重文旧鶴岡警察署庁舎保存修理工事（平成25年度竣工検査）

資料一 入館者数(月別)

■致道博物館

月	年度	一般			学生		小中学生		招待	合計
		個人	団体	友の会員	有料者	友の会	有料者	友の会		
4月	25年度	1,891	1,060	559	43	24	53	3	17	3,650
	前年度	1,899	1,201	1,059	45	0	93	1	38	4,336
5月	25年度	2,842	1,198	626	73	17	325	0	57	5,138
	前年度	2,997	1,749	970	173	30	340	5	41	6,305
6月	25年度	2,044	1,139	543	241	19	115	0	15	4,116
	前年度	2,369	1,851	630	50	3	320	0	72	5,295
7月	25年度	2,179	966	382	21	5	148	0	120	3,821
	前年度	2,046	1,071	586	86	54	178	1	30	4,052
8月	25年度	3,609	697	697	224	3	350	0	89	5,669
	前年度	3,355	888	766	166	7	253	9	18	5,462
9月	25年度	2,577	1,143	503	60	21	45	0	52	4,401
	前年度	2,941	1,728	807	70	25	82	0	181	5,834
10月	25年度	2,681	2,326	462	16	86	117	0	50	5,738
	前年度	3,257	2,205	901	43	3	179	0	211	6,799
11月	25年度	1,833	1,417	370	56	40	472	0	269	4,457
	前年度	1,757	1,389	668	15	127	578	2	163	4,699
12月	25年度	470	255	178	4	0	17	0	18	942
	前年度	362	245	267	8	4	12	0	15	913
1月	25年度	223	44	257	5	0	178	1	39	747
	前年度	339	0	381	5	0	222	0	21	968
2月	25年度	350	60	313	17	2	130	0	57	929
	前年度	431	112	307	14	0	122	0	11	997
3月	25年度	1,392	317	601	47	3	84	0	158	2,602
	前年度	1,714	234	1,095	65	2	80	4	147	3,341
合計	25年度	22,091	10,622	5,491	807	220	2,034	4	941	42,210
	前年度	23,467	12,673	8,437	740	255	2,459	22	948	49,001

■松ヶ岡観覧施設

月	年度	一般			学生		小中学生		招待	合計
		個人	団体	友の会員	有料者	友の会	有料者	友の会		
4月	25年度	93	37	59	0	0	2	0	7	198
	前年度	149	20	68	1	0	10	0	18	266
5月	25年度	146	0	54	65	0	8	0	9	282
	前年度	138	0	52	47	42	51	0	11	341
6月	25年度	115	110	146	226	0	9	0	6	612
	前年度	121	44	82	68	0	0	0	0	315
7月	25年度	83	0	50	2	0	3	0	5	143
	前年度	108	38	36	9	0	10	2	17	220
8月	25年度	213	0	78	32	0	19	0	2	344
	前年度	243	40	100	1	0	23	4	3	414
9月	25年度	179	20	63	17	0	3	0	3	285
	前年度	144	0	77	61	0	139	0	23	444
10月	25年度	117	25	67	1	0	5	0	7	222
	前年度	182	80	59	1	0	35	1	3	361
11月	25年度	83	65	46	0	0	45	0	19	258
	前年度	109	28	48	1	0	35	19	2	242
12月	25年度	11	0	0	4	0	0	0	28	43
	前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1月	25年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2月	25年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3月	25年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	前年度	95	0	57	1	0	5	0	0	158
合計	25年度	1,040	257	563	347	0	94	0	86	2,387
	前年度	1,289	250	579	190	42	308	26	77	2,761

資料一2 入館者総数

年 度	大 人	学 生	年 度 合 計
昭和25年(1950)	2,071	8,285	10,356
昭和26年(1951)	3,015	8,485	11,500
昭和27年(1952)	5,759	11,590	17,349
昭和28年(1953)	4,903	9,650	14,553
昭和29年(1954)	8,152	31,120	39,272
昭和30年(1955)	11,348	38,363	49,711
昭和31年(1956)	13,806	45,046	58,852
昭和32年(1957)	20,872	39,447	60,319
昭和33年(1958)	25,831	34,825	60,656
昭和34年(1959)	19,937	31,232	51,169
昭和35年(1960)	20,539	29,712	50,251
昭和36年(1961)	23,953	32,764	56,717
昭和37年(1962)	22,178	41,282	63,460
昭和38年(1963)	22,813	39,449	62,262
昭和39年(1964)	21,321	37,016	58,337
昭和40年(1965)	23,411	32,016	55,427
昭和41年(1966)	26,886	32,999	59,885
昭和42年(1967)	24,563	29,266	53,829
昭和43年(1968)	28,205	26,800	55,005
昭和44年(1969)	29,044	27,412	56,456
昭和45年(1970)	28,049	23,043	51,092
昭和46年(1971)	34,001	22,645	56,646
昭和47年(1972)	44,811	28,098	72,909
昭和48年(1973)	63,659	29,888	93,547
昭和49年(1974)	73,725	30,607	104,332
昭和50年(1975)	86,059	32,328	118,387
昭和51年(1976)	88,135	30,113	118,248
昭和52年(1977)	95,706	29,571	125,277
昭和53年(1978)	93,987	25,531	119,518
昭和54年(1979)	107,889	29,429	137,318
昭和55年(1980)	117,722	28,344	146,066
昭和56年(1981)	107,526	25,656	133,182
昭和57年(1982)	130,037	24,961	154,998
昭和58年(1983)	131,477	24,060	155,537
昭和59年(1984)	126,699	26,539	153,238
昭和60年(1985)	135,574	23,802	159,376
昭和61年(1986)	127,461	23,810	151,271
昭和62年(1987)	123,454	22,575	146,029
昭和63年(1988)	124,266	21,612	145,878

年 度	大 人	学 生	年 度 合 計
*1 平成元年(1989)	133,415	19,662	153,077
*2 平成 2年(1990)	129,968	23,337	153,305
平成 3年(1991)	132,502	20,541	153,043
平成 4年(1992)	144,907	16,031	160,938
平成 5年(1993)	139,841	15,437	155,278
平成 6年(1994)	148,799	21,524	170,323
平成 7年(1995)	137,810	12,269	150,079
平成 8年(1996)	128,017	9,907	137,924
平成 9年(1997)	111,874	9,177	121,051
平成10年(1998)	95,757	8,166	103,923
平成11年(1999)	94,071	6,701	100,772
平成12年(2000)	85,280	5,819	91,099
平成13年(2001)	85,185	6,051	91,236
平成14年(2002)	81,599	5,173	86,772
平成15年(2003)	80,043	5,887	85,930
平成16年(2004)	76,051	4,585	80,636
平成17年(2005)	64,682	4,490	69,172
平成18年(2006)	70,779	4,016	74,795
平成19年(2007)	69,941	4,538	74,479
平成20年(2008)	67,036	4,688	71,724
平成21年(2009)	64,518	4,423	68,941
平成22年(2010)	56,525	3,429	59,954
平成23年(2011)	42,758	4,421	47,179
平成24年(2012)	45,525	3,476	49,001
平成25年(2013)	39,145	3,065	42,210
総 計	4,485,727	1,313,119	5,798,846

*1 昭和25年4月14日開館

*2 昭和26年以降の年度事業期間は1/1～12/31

*3 平成6年度の事業期間は1/1～翌年3/31

*4 平成7年度以降の年度事業期間は4/1～翌年3/31

資料一3 友の会会員数

	賛助会員	特別会員	普通会員	東京賛助会員	東京友の会会員	学生会員	小中学生会員	合計
平成25年度	248	121	1,462	70	209	2,211	2	4,321
平成24年度	262	130	1,510	79	206	3,110	2	5,299
増減	△ 14	△ 9	△ 48	△ 9	3	△ 899	△ 2	△ 978

資料一4 新収蔵美術品

【寄贈】

種類	作者名	作品名	制作年	材質・技法・形状	員数	寸法 cm
工芸	行廣	刀 銘 肥前國出羽守行廣			1口	長さ:2尺4寸2分
〃	国重	槍 銘 国重（柄共）			1口	長さ:16.6
〃		槍 無銘（柄共）			1口	長さ:15.0
〃		火縄銃			一挺	
書	酒井忠篤	七言詩「姑蘇臺上……」		紙本・墨書・軸装	1幅	162.8×60.3
〃	酒井忠良	五言絶句「念珠閣」		紙本・墨書・軸装	1幅	129.4×34.4
〃	佐藤寒山	細井平洲詩五言絶句「尽日」		紙本・墨書・軸装	1幅	55.0×79.5
絵	佐藤梅宇	墨梅図		紙本・墨画・軸装	1幅	111.8×67.3
〃	三井永一	助六		色紙・墨画淡彩	1点	27.7×24.2
〃	〃	挿絵山田風太郎「死なない剣豪」		紙・ペン・淡彩	3点	
〃	〃	「三つの塔」 ほか	昭和33年他	カンバス・油彩・額装	5点	F60号
〃	〃	「水上の塔」 ほか	昭和40年他	カンバス・油彩・額装	20点	F50及びP50号
〃	〃	「漂う眼」 ほか	昭和31年他	カンバス・油彩・額装	14点	S40・F40・P40号
〃	〃	「サーカスの綱渡り」 ほか	昭和15年他	カンバス・油彩・額装	19点	S30・F30・M30号
〃	〃	「バレリーナ」 ほか	昭和24年他	カンバス・油彩・額装	5点	P25号
〃	〃	「森と木と花」 ほか	昭和26年他	カンバス・油彩・額装	3点	F20号
〃	〃	「火の鳥」 ほか	昭和30年他	カンバス・油彩・額装	7点	F15号
〃	〃	「ダリア籠」 ほか	昭和23年他	カンバス・油彩・額装	3点	F12・P12号
〃	〃	「花図」 ほか	昭和23年他	カンバス・油彩・額装	9点	F10・P10号
〃	〃	「海辺の塔」 ほか	昭和35年他	カンバス・油彩・額装	4点	F8号
〃	〃	「ダンス」 ほか	昭和14年他	カンバス・油彩・額装	11点	32.0×24.0 ほか
〃	〃	リトグラフ「塔影」 ほか	昭和37年他	紙・リトグラフ・シート	52点	大判(50cm)
〃	〃	「緑の中塔」 ほか	昭和38年他	紙・リトグラフ・シート	20点	中判(40cm)
〃	〃	「マグノリア」 ほか	昭和57年他	紙・リトグラフ・シート	29点	小判(40cm以下)
〃	酒井忠宝	山水図		紙本・墨画淡彩・軸装	1幅	38.7×27.4
〃	作者不詳	翔鶴図		紙本・墨画・軸装	1幅	68.0×28.0
〃	作者不詳	鶴止仙人図		紙本・着色・軸装	1幅	101.2×20.0
〃	服部五郎・服部二柳・太田義一 ほか	山村図・蘭図・木流し図ほか		紙本・墨画・まくり	23点	